

令和 2 年度 宇都宮市立平石北小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

心身ともに健康で、自ら考え主体的に行動し、徳・知・体の調和のとれた人間性豊かでたくましく生きる児童を育成する。

～ 心ゆたかで かしこく たくましく ～

(2) 具体目標

- ・思いやりがあり協力し合える子（心ゆたかで）
- ・進んで学び自ら考える子（かしこく）
- ・心と体をきたえる子（たくましく）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

— 楽しく「学び」・勇気をもって「チャレンジし」・みんなで「支え合う」活気ある学校経営の推進 —

児童や教職員、保護者、地域住民のだれもが楽しく安心していける活気のある学校とするためには、一人一人が達成感や満足感、存在感、やりがいを感じる場所となることが大切であると考え。教育目標の達成や児童一人一人の資質・能力の向上を目指して、全ての児童が楽しく意欲をもって様々な教育活動に取り組み、夢や希望に向かって勇気をもってチャレンジし、児童同士、教職員同士、児童と教職員、学校と地域が互いに支え合えるよう、学習指導や児童指導、各種活動・行事、人的・物的教育環境づくりの工夫・改善に努めて教育活動や学校経営の充実を図り、活気あふれる地域の学校づくりを展開していく。

◇目指す学校の姿（本校の使命） 「活気あふれる地域の学校」

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

(1) 目指す学校の姿（本校の使命）

「活気あふれる地域の学校」

(2) 学校像と教職員像

- ①夢や意欲がもてる学校
- ②心豊かで思いやりのある児童が育つ学校
- ③互いの個性やチャレンジを認め合える学校
- ④保護者・地域から信頼され魅力のある学校
- ⑤自己のキャリアを高めようとする意識の高い教職員
- ⑥人間性・社会性豊かで信頼される教職員（学校スタッフとの連携）
- ⑦学校組織の一員として学びあい、協働し支え合う教職員

(3) 「平北プロジェクト」（本校教育の重点）の策定と全教職員による実践推進

[鬼怒地域学校園教育ビジョン]

～学習や学校行事等を通して、学校生活に意欲をもって取り組む子供の育成

4 教育課程編成の方針

社会に開かれた教育編成のため、カリキュラムマネジメントの視点から、一貫性、相互関連性のある教育課程・各種年間指導計画を作成し、教育活動を展開する

- ① 各教科の教育内容を相互関係でとらえ、教育横断的な視点で内容を組織的に配列する
- ② 子供たちの姿や地域の現状に基づき、教育課程を PDCA サイクルで実施改善する
- ③ 小規模校の特性を生かし、教育内容と地域等の外部も含めた人的・物的な資源を効果的に組み合わせる。（各種ボランティア・平北ファーム・高齢者との交流活動等）

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

- ・学校マネジメントシステムを生かした活気あふれる地域の学校づくりの推進
- ・教育活動の充実と精選、放課後研修の集中化を図り、勤務時間を意識した働き方の推進
- ・チーム力を生かした組織による業務の円滑化

【 学 習 指 導 】

- ・「安心して考えを伝え合い、互いに高め合える学級集団の育成」～自分で！みんなで！考える学習の重視～

【 児 童 生 徒 指 導 】

- ・望ましい生活習慣を身に付け、元気なあいさつ、正しい言葉づかいのできる児童の育成

【健康（体力・保健・食・安全）】

- ・自己の健康・体力についての理解を深め、進んでその向上に努める児童の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価（R1）
目指す児童の姿	<p>A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答80%以上</p>	<p>① レンジャーシールや学習コーナー、「きいてきいてタイム」の活用を図り、児童の取組を認め、さらに児童の学習意欲を高める。</p> <p>② 児童の学習意欲が向上し、授業のねらいを達成できるよう言語活動を効果的に位置づける。</p>		<p>【達成状況】 教職員91 保護者93 児童 90 ・全ての対象で、目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・レンジャーシールや学習コーナー、きいてきいてタイムの活用を見直し、さらに児童の学習意欲を高める。 ・多様な学習形態を取り入れ、言語活動を生かした表現の場を設ける。</p>
	<p>A 2 児童は、思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 「誰に対しても、思いやりの心をもって接している」 各対象 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 道徳科の授業では、考え話し合う場を設ける。</p> <p>② なかよし班活動や縦割り清掃班活動を継続し、異年齢児童との活動の充実を図る。また、地域の大人・高齢者との交流を計画的に実施する。</p> <p>③ 道徳の授業や学級活動を公開授業に組み込む。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員100 保護者84 地域住民100 児童 87 ・保護者以外の対象で、目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・道徳や学級活動の授業の中で、親切や思いやりについて考え、話し合う場を設ける。 ・なかよし班活動などの異学年活動を通して、上級生は一層の自覚が生まれ、下級生は上級生に対する憧れの気持ちをもてるような取組を行う。 ・レンジャーシールを活用し、思いやりのある行動を称賛していく。</p>
	<p>A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、授業と生活のマナーを守って生活している」 各対象 肯定的回答85%以上</p>	<p>○①「ひらきたよい子の一日」を年度ごとに、児童の実態に合わせて見直していく。</p> <p>○②児童の生活の中から小さな頑張りでもよい点を見つけ、帰りの会等で積極的に認め合う。</p> <p>③帰りの会における生活目標の振り返りを継続して実施する。</p>	B	<p>【達成状況】 教職員100 保護者90 地域住民100 児童 85 ・全ての対象で目標値が上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・「ひらきたよい子の一日」を、児童の実態に合わせて見直し、全職員で共通理解する。 ・レンジャーシールを活用し、児童の生活の中から頑張りを認めていく。 ・帰りの会において、生活目標の振り返りやよい行いを認め合う場を設定する。</p>

<p>A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 各対象 肯定的回答 80%以上</p>	<p>○①今年度同様、「さわやかあいさつ運動」の方法を工夫し、クラス単位でのあいさつ運動を行う。学校園あいさつ運動の取組も継続して実施していく。</p> <p>②各種たよりや学級懇談会等の機会をとらえ、家庭でも大きな声であいさつができるように協力を依頼する。</p>	<p>【達成状況】 教職員 100 保護者 79 地域住民 94 児童 95</p> <p>・保護者以外の対象で、目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・クラス単位で「さわやかあいさつ運動」を実施し、学校園あいさつ運動も取り組んでいく。</p> <p>・各種たよりや学級懇談会、HP 等であいさつに関する取組を家庭に知らせ、児童が時と場に応じたあいさつができるよう、家庭と協力できるようにする。</p> <p>・レンジャーシールを活用、児童の取組を認め、称賛する。</p>
<p>A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答 80%以上</p>	<p>①持久走記録会やなわとび検定では、カードの活用を図り、達成感を味わう機会を作る。</p> <p>②レンジャーシールを活用し、児童の取組を認めていく。また、レンジャーシールをもとに、宮っ子心の教育表彰に該当する児童を考えていく。</p>	<p>【達成状況】 教職員 91 保護者 71 児童 86</p> <p>・保護者以外の対象で、目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・レンジャーシールを活用し、児童の行いを認め、称賛することで、目標に向けて粘り強く取り組めるようにする。</p> <p>・持久走記録会やなわとび検定では、カードの活用を図り、達成感を味わう機会を作る。</p>
<p>A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。</p> <p>【数値指標】 「健康や安全に気を付けて生活している」 各対象 肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 健康の保持増進やバランスのとれた食事、安全を意識した生活を送ることができるよう、児童に具体的な行動様式等を示しながら、毎日の指導に取り組む。</p> <p>② 定期健康診断や避難訓練、交通安全教室等を計画的に実施するなどして、各健診・検査や体験活動を通じた健康安全教育を推進する。</p> <p>③ 各種たよりや学級懇談会 HP 等を利用して保護者への啓発を図るとともに、家庭と連携・協力して指導を行う。</p>	<p>【達成状況】 教職員 96 保護者 92 地域住民 100 児童 95</p> <p>・全ての対象で目標値が上回った。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>・児童が健康・食育・安全を意識しながら生活できるよう場面に応じた具体的な指導を継続して実施する。</p> <p>・定期健康診断や各行事等を状況に応じて計画的に実施するとともに、コロナ等の感染対策をしながら体験活動を通じた健康・食育・安全教育に取り組む。</p> <p>・随時、各種便りや HP などで情報の発信・提供を行うなど、保護者への啓発活動を継続する。</p>

<p>A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。</p> <p>【数値指標】 「夢や目標をもって社会に貢献できるよう努力している」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 宮・未来キャリア教育の充実を図るために、各教科等との関連について自校化を図り、年計に位置付け実施していく。</p> <p>② 各種便り、学校公開等の実施により、教育活動を積極的に発信する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員 9 1 保護者 7 1 児童 8 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者以外の対象で、目標値を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域との連携による体験学習や出前授業を取り入れ、児童が夢や目標を持ったり、働くことの大切さや喜びを実感させる教育活動を展開する。 ・地域協議会と連携した「生き方講演会」の実施や宮・未来キャリア教育の充実を図るために各教科や特別活動、道徳等との関連を図り、年計への位置づけを行うとともに、キャリアパスポートの有効活用を図る。 ・各種便り、HP、学校公開等の機会を通し、教育活動を積極的に発信する。
<p>A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、英語を使ったコミュニケーションをしている。」 児童、教職員対象 肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① ALT と連携し、学年の実態に応じた外国語活動に取り組むことで、英語に親しみ、積極的に英語を使ってコミュニケーションをとろうとする態度を養う。</p> <p>② ALT との給食や昼休みの ALT による読み聞かせやゲーム、他授業などの交流を通して、学校生活で英語を使う機会を設ける。</p> <p>③ ALT との触れ合いについては教職員や児童からもアイデアを募る。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員 9 6 児童 8 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての対象で目標値が上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任や担当者が ALT と十分に打ち合わせを行ったり、教材研究を行ったりして、進んでコミュニケーションを図ろうとする授業づくりを行う。 ・状況に応じ、ALT との給食や昼休みの ALT による読み聞かせやゲーム、他授業などの交流を通して、学校生活で英語を使う機会を設ける。
<p>A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、宇都宮の良さを知っている」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① 生活科や総合的な学習の時間の年計において自校化を図り、平石地区や宇都宮市を教材とした学習を展開する。</p> <p>② 地域の情報を収集し、H.P や各種おたよりに掲載することにより、地域の良さを実感できるような児童や保護者の地域活動を推進する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員 7 8 保護者 5 1 児童 7 6</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度よりは上回ったが、全てにおいて目標値を下回った。社会や総合的な学習で取り組んできたが、その成果が伝わるまでにはなっていない。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の取り組みを継続しつつ、次年度はさらに H.P や各種おたよりで発信していく。

<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 「パソコンや図書等を学習に活用している」 児童、教職員、保護者対象 肯定的回答率 80%以上</p>	<p>① 情報教育担当や司書、学級担任が連携し、パソコンや図書室等を活用した調べ学習や発展学習の内容を年計に自校化し、指導の充実を図る。</p> <p>② 各教科において図書やICTを活用する学習活動の展開を工夫したり、意図的に場面を設定したりする。</p> <p>③ 「まなびポケット」を活用し、オンラインにおいて教室内で交流を図り、協働学習を進める。</p>	<p>【達成状況】 教職員100 保護者75 児童 88</p> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者以外の対象で、目標値を上回った。職員・児童においては、プログラミング学習について研修を行ったり、ICTや図書を活用した授業づくりに取り組んだりしてきた成果からの数値と考えられる。 ・児童がコンピュータや情報機器ネットワークなどの情報手段に親しみ、適切に活用する能力を育成できるよう、授業において積極的にICT機器を活用する。 ・各学年の授業内容の関連に配慮した教育図書の整備充実等、学校図書館の環境整備に努める。 ・今年度の取り組みを継続しつつ、次年度はさらにH.Pや各種たよりで発信していく。
<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 各対象 肯定的回答85%以上</p>	<p>① 3年の高砂荘交流、1・2年のむかし遊び交流を継続して実施する。</p> <p>② 「きいてきいてタイム」での高齢者ボランティア、花壇ボランティアと作業を一緒に行うなど、触れ合う場面を増やす。</p> <p>③ 「感謝の会」の準備・本番を通して、感謝やいたわりの気持ちを実感できるようにする。</p>	<p>【達成状況】 教職員100 保護者84 地域住民100 児童 87</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者以外の対象で、目標値を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「感謝の会」の準備・本番を通して、感謝やいたわりの気持ちを実感できるようにする。 ・「きいてきいてタイム」での高齢者ボランティア、花壇ボランティアと作業を一緒に行うなど、触れ合う場面を増やす。 ・3年総合的な学習の時間における、高砂荘交流、1・2年生活科の時間における、むかし遊び交流等を継続して実施する。
<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 「環境問題や防災等の『持続可能な社会』について、関心をもっている」 児童、教職員対象 肯定的回答率 80%以上</p>	<p>①学校農園活動や親子ふれあい作業等を通して、「持続可能な社会」について、考える機会をもつ。</p> <p>②平北ファーム関連の食農の年計の見通しを立てる。</p> <p>③避難訓練のマニュアルを作成する。</p> <p>④教職員の校内研修を実施する。</p>	<p>【達成状況】 教職員74 児童 84</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童のみ目標値を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間や学級活動等を通して、環境問題について考え、日常生活に生かすようにする。 ・学校農園活動や親子ふれあい作業等を通して、「持続可能な社会」について、考える機会をもつ。

	<p>B1 児童は正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」</p> <p>各対象 肯定的回答80%以上</p>	<p>① 生活目標に「正しい言葉遣い」を位置づける。</p> <p>② 道徳や学級活動で意図的に取り上げる。</p> <p>③ 各種たよりや学級懇談会等の機会をとらえ、家庭でも言葉遣いについて考える機会をもってもらようようにする。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員96 保護者77 地域住民89 児童87</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者以外の対象で、目標値を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳や学級活動で言葉づかいについて考え、話し合う場を設けたり、レンジャーシールを活用して、児童の行いを称賛したりする。 ・各種たよりや学級懇談会、HP等で学校での取組を伝え、家庭でも言葉遣いについて考える機会をもってもらようようにする。 ・生活目標に「正しい言葉遣い」を位置づける。
目	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 「特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている」</p> <p>⇒教職員対象 肯定的回答率80%以上</p>	<p>① 校内支援委員会やケース会議、児童に関する情報交換会を計画的・継続的に実施し、特別な支援を必要とする児童や保護者の情報について共有を図る。また記録を蓄積していく。</p> <p>② 個人懇談、保護者会などの中で児童の情報を把握する機会をもつ。また、適宜適切で迅速な保護者対応に努める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員96</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も特別な支援を必要とする児童の教育的ニーズに応じた支援を行っていく。 ・必要に応じ外部機関との連携を図ったり、特別支援学級担任の専門的な知見を教職員で共有したりして、特別な支援を必要とする児童への支援の方法について研修を行う。
指 す 学 校 の 姿	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる」</p> <p>各対象 肯定的回答80%以上</p>	<p>① 各種たよりや学級懇談会等の機会をとらえ、児童の取組を発信していく。</p> <p>② 9月いじめゼロ強調月間に合わせて道徳の授業を継続して実施する。</p> <p>③ いじめゼロに関するアンケート・標語・名札の着用等を通じて意識の向上を図る。</p> <p>④ 児童会や平北レンジャーと連携し、いじめゼロ運動を計画的に実施する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員100 保護者77 地域住民100 児童99</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者以外の対象で、目標値を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめゼロ強調月間に合わせて道徳の授業を継続して実施する。 ・いじめゼロに関するアンケート・標語・名札の着用等を通じて意識の向上を図る。 ・児童会や平北レンジャーと連携し、いじめゼロ運動を計画的に実施する。 ・各種たよりや学級懇談会、HP等で児童の取組を発信していく。
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 「教職員は、一人一人を大切に、児童がともに認め合い、励まし合う学級経営を行っている」</p> <p>児童、教職員、保護者対象 肯定的回答80%以上</p>	<p>① 今後も、児童指導情報交換会やいじめ等対策委員会（不登校対策含）、ケース会議等で児童の様子についての共通理解を図り、対応策を検討していく。</p> <p>② SCM及び特別支援コーディネーターを中心に、様々な外部組織とつながった対応を継続して進めていく。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員100 保護者89 児童96</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての対象で目標値を上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童指導情報交換会やいじめ等対策委員会（不登校対策含）、ケース会議等で児童の様子についての共通理解を図り、対応策を検討していく。 ・SCM及び特別支援コーディネーターを中心に、様々な外部組織とつながった対応を継続して進めていく。

<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 ⇒教職員対象 肯定的回答率80%以上</p>	<p>① 関連機関と連携を図り、該当児童の存在や状況を把握していく。</p> <p>② 校内支援委員会等において、特別な支援を必要とする児童についての共通理解を図り、対応策を検討していく。</p>	<p>【達成状況】 教職員96 ・目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・関連機関と連携を図り、該当児童の存在や状況を把握していく。 ・校内支援委員会等において、特別な支援を必要とする児童についての共通理解を図り、対応策を検討していく。</p>
<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】 「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」 各対象 肯定的回答90%以上</p>	<p>① 児童会と平北レンジャーが連携し、計画的に活動を実施する。</p> <p>② 学校だよりや学年だより、H.P.等を活用し、クラスの様子や学校での活動の様子を積極的に発信していく。</p>	<p>(達成状況) 教職員100 保護者92 地域住民88 児童 88 ・地域住民、児童以外の対象で、目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・児童会と平北レンジャーが連携し、計画的に活動を実施する。 ・各種たよりや学級懇談会、HP等を活用し、クラスの様子や学校での活動の様子を積極的に発信していく。</p>
<p>A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】 「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材研究を工夫するなど、きめ細かな指導をしている。」 児童・教職員・保護者対象 肯定的回答80%以上</p>	<p>① 学校課題を受け、「主体的・対話的で深い学び」の実現のため「基礎的・基本的な知識及び技能」を習得できるよう、学校全体で課題解決に向けて取り組む。</p> <p>② 算数における少人数・習熟度別学習やT.Tの実施、全学級T・Tによる朝の学習の実施など、個に応じた指導を工夫・改善することで、基礎基本の定着を図る。</p> <p>○③家庭学習について「家庭学習だより」や「家庭学習の手引き」などを活用したり地域学校園内で校内研修について共通理解を図ったりして、地域全体としての学力向上を目指す。</p>	<p>【達成状況】 教職員100 保護者88 児童 97 ・全ての対象で目標値が上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・算数において、T.Tや少人数・習熟度別学習によるわかる授業を展開する。 ・朝の学習において全学級に担任外の職員が支援に入る体制をつくるなど、個に応じた指導の充実を図る。 ・校内研修サポート事業や要請訪問などの校内研修や日々の教材研究を通し、教員の授業力を高めていく。 ・学年だよりで授業の様子を紹介したり、授業参観や学級懇談会等で児童の学びについて伝えたりしていく。</p>
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「学校に関わる職員全員チームとなり、協力して業務に取り組んでいる。」 教職員対象 肯定的回答90%以上</p>	<p>① PDCA サイクルによる学校行事の精選を図り、校務分掌の見直しを図る。</p> <p>② 教職員一人一人の専門性を活かし、「社会に開かれた教育課程」の実現に努める。</p>	<p>【達成状況】 教職員100 ・対象で目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き PDCA サイクルによる学校行事精選や校務分掌の見直しを図る。 ・教職員の多様な専門性を活かし、役割分担を明確にすることで、効率的な業務遂行を目指す。</p>
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「全教職員残業時間の平均 45 時間未満」 教職員対象 90%以上</p>	<p>① 業務改善を校務分掌に位置付け、業務の効率化に取り組んでいく。</p> <p>② 行事等の取組の反省を検証し、効率化につながる改善を図る。</p> <p>③ PC や電子掲示板を活用した会議や打ち合わせの効率化を図るなどの取組みにより、放課後の教材研究の時間を確保する。</p>	<p>【達成状況】 教職員100 ・対象で目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・引き続き、学校支援スタッフとの連携を充実させていく。 ・学校行事の反省、教育課程のふりかえりなどを通し、学校運営の見直しや行事の実施方法の改善を行う。</p>

<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】 「学校は、小学校と中学校が連携した取組を行っている」</p> <p>各対象 肯定的回答80%以上</p>	<p>○①地域学校園あいさつ運動等の行事を通して、児童・生徒交流を積極的に推進する。</p> <p>○②小中一貫の取組みがわかるように、各種便りや学校ホームページ、校内掲示等を工夫し、学校の取組や児童の活躍の様子を積極的に発信する。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】 教職員96 保護者77 地域住民75 児童70</p> <p>・目標値を上回ったのは教職員のみ。</p> <p>【次年度の方針】 ○・コロナ禍における学校園での取組について検証し、児童・生徒間の交流、各部・分科会での教職員の交流を図る。</p> <p>○・小中一貫教育・地域学校園における取組みについて、各種たよりやHP、校内掲示等で積極的に発信数る。</p>
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】 「学校は、家庭・地域・企業等と連携して、教育活動や学校運営の充実を図っている」</p> <p>各対象 肯定的回答80%以上</p>	<p>① 地域コーディネーターの役割を明確化し連携を強化することで、ボランティア活用の活性化を図る。</p> <p>② 街の先生及び学校支援ボランティアの活用を年計に位置づける。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】 教職員96 保護者82 地域住民83 児童84</p> <p>・全ての対象で目標値を上回った</p> <p>【次年度の方針】 ・コロナ禍で可能な活動を検証しながら、地域協議会、まちづくり協議会との連携を強化し、ボランティア活用の活性化を図る。</p> <p>・学校支援ボランティアや地域の企業・施設の活用を年計に位置づける。</p>
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 「学校は、家庭・地域・企業等と連携して、教育活動や学校運営の充実を図っている」</p> <p>各対象 肯定的回答90%以上</p>	<p>① 地域やPTAとの連携をさらに推進し、地域に根差した特色ある学校づくりを目指す。各教科や総合的な学習の時間の地域教材の発掘を積極的に推進する。</p> <p>② 地域協議会を窓口とした学校支援ボランティアの活用を推進する。</p> <p>③ 各種便り、学校公開等の実施により、教育活動を積極的に発信する。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】 教職員96 保護者82 地域住民83 児童84</p> <p>・目標値を上回ったのは教職員のみ。</p> <p>【次年度の方針】 ・地域やPTAとの連携をさらに推進し、地域に根差した特色ある学校づくりを目指す。</p> <p>・地域コーディネーターを窓口とした学校支援ボランティアの活用を推進する。</p> <p>・各種便り、HP等により教育活動を積極的に発信する</p>
<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】 「学校は、利用者の安全に配慮した環境づくりに努めている」</p> <p>教職員、保護者、地域対象 肯定的回答80%以上</p>	<p>① チェック項目に基づく安全点検を毎月実施し、児童や利用者が安全に活用できる環境づくりに取り組む。危険箇所については迅速な改善や修繕に努める。</p> <p>② 危機管理マニュアルを整備するとともに、避難訓練や引き渡し訓練等を通し、火事・地震・竜巻・不審者侵入等不測の事態への備えを万全にする。</p> <p>③ 保護者や利用者に来校時の注意点の周知、危険箇所の表示、AEDの活用、災害時の避難方法、危機対応に関する情報を提供する。</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】 教職員100 保護者87 地域住民100</p> <p>・全ての対象で目標値が上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校の取組みなどを各種たよりやホームページ等により、家庭や地域へ積極的に発信する。</p> <p>・毎月の安全点検の実施により、危険箇所の周知を図り修繕箇所への迅速な対応に取り組む。</p> <p>・台風や雷雨等、気象災害への迅速な対応とメール配信時の開封確認の徹底により、保護者への確実な情報提供を行う。</p>

	<p>A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】 児童・教職員・保護者対象 肯定的回答80%以上</p>	<p>① 各学級の古い図書は廃棄し、図書の充実を図る。</p> <p>② ICT 機器や図書を活用した授業に関する研修の場を設ける。</p> <p>③ 授業参観等において、ICT 機器や図書を活用した授業を実践する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員100 保護者75 児童 88 ・保護者以外の対象で、目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・学級文庫の充実や ICT 機器の整備を図る。 ・ICT 機器や図書を活用した授業に関する研修の場を設ける。 ・各種たよりや HP 等で、ICT 機器や図書を活用した授業の様子を発信したり、授業参観等において、ICT 機器や図書を活用した授業を実践したりする。</p>
	<p>B2 学校マネジメントシステムを生かし、教育活動の継続的な改善に努めている。</p> <p>【数値指標】 「保護者や地域住民の建設的な意見を学級経営や授業改善に生かそうとしている」 教職員対象 肯定的回答90%以上</p>	<p>① 教職員による評価や学校公開のアンケート等を活用し、教育活動の改善に努める。</p> <p>② 校内評価委員会やプロジェクトチーム等を活用し、教育活動の改善に努める。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 教職員100 ・対象で目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・校内評価委員会やプロジェクトチーム等を活用し、教育活動の改善に努める。</p>
<p>本校の特色 ・課題等</p>	<p>B3 いろいろな分野の本をたくさん読み、読書への関心や読み取る力の育成に努めている。</p> <p>【数値指標】 「児童は、進んで読書に取り組んでいる」 教職員、保護者、児童対象 肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 朝の読書の実施、図書委員会による取組等により、読書への関心を高める。</p> <p>② 家庭での読書量が増えるよう、家読を継続して実施していく。</p> <p>③ 学校図書館司書と連携・協力して読書活動や学習活動への支援の工夫・改善を図り、HP や各種おたよりで保護者への啓発を図る。</p>	<p>B</p> <p>(達成状況) 教職員96 保護者61 児童 80 ・保護者以外の対象で、目標値を上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校図書館司書と連携・協力して図書館のさらなる活用を図る。 ・図書室のイベントや家読など今年度の取り組みを継続しつつ、次年度もHP や各種たよりでさらに発信していく。 ・家庭での読書量が増えるよう、週末の宿題などでの家読を継続して実施していく。</p>

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

<p>・アンケートの結果から、本校の教育活動は概ね良好に進められていると考えられる</p> <p>【目指す児童の姿（評価項目：A1～12）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導、健康指導に関する項目の多くで数値目標を上回った。学習指導に関しては、引き続き学力向上を目指した取り組みを工夫・改善していく。 ・ICT 機器や図書を活用した学習活動を年計に自校化し取り組んだ結果、昨年度と比較して保護者の数値は約12%、児童は約9%上昇している。今後、GIGA スクール構想の実現により、一人一台タブレットが導入されることから、プログラミング教育や日常の授業における活用をさらに推進するとともに、図書の活用を含めた取り組みを広く発信していく必要がある。
--

- ・A9「宇都宮の良さ」については、各対象とも目標値を下回っているが、昨年度より数値は上がっている。地域資源・人材の活用など地域資源の教材化を図るなど、今年度より実施の宇都宮学のさらなる充実を図っていく必要がある。
 - 「あいさつや正しい言葉づかい」については、昨年度より数値は上がっているが、実態としてあいさつに元気がなく、立哨指導する保護者からも同様の声があがっている。さわやかあいさつ運動の充実や保護者や地域と連携して取り組みを充実させていく必要がある。
 - ・「夢や目標に向かって努力すること」に関する項目の保護者の数値が低いことから、家庭や地域との連携による体験学習や地域協議会と連携した「生き方講演会」の実施など、宮・未来キャリア教育の推進と併せ充実を図る必要がある。
- 【目指す学校の姿（評価項目 A13～25）】
- ・ほとんどの項目で数値を上回った。「いじめゼロ強調月間」や「いじめゼロ」運動の充実を図った結果、保護者の数値が昨年度より4%上昇し、目標値に近づいてきた。今後は、今まで以上に家庭との連携に力を入れるなど、取り組みの発展・周知を図ってきたい。
 - ・A21「小中一貫教育」については、各対象において昨年度より数値が低下した。コロナ禍における児童・生徒間の交流、教職員間の情報交換について検証するとともに、取り組みについて情報発信に力を入れる必要がある。また、A22・A23の地域や家庭との連携についても、PTAや地域協議会、まちづくり協議会との連携を強化し、ボランティア活用の活性化を図るなど、地域に根差した特色ある学校づくりを目指していく。
- 【本校の特色・課題等（評価項目：B1～3）】
- ・B1「時と場に応じた言葉づかい」は、生活目標に位置付けたり、道徳や学級活動で意図的に取り上げたりした結果、昨年度と比較して保護者の数値が12.4%上昇している。今後も継続して時と場に応じた言葉遣いが身に付くよう手立てを講じて取り組んでいく。
 - ・B3「いろいろな分野の本を読んでいる」の保護者数値が低かった。図書室のイベントや家読などの取り組みを継続しつつ、学校図書館司書と連携・協力し読書活動や学習活動への支援の工夫・改善を図る必要がある。

7 学校関係者評価

- ・コロナ禍の中、重点目標をはじめとした目標達成に向けての取り組みは大いに評価できる。
- ・児童の様子は、授業参観等が中止となり、立哨等の限られた機会で見ることができなかったが、みな落ち着いているように見えた。
- ・挨拶は、マスクを着用している影響かおとなしい印象である。
- ・コロナの影響で、今まで行ってきた行事や地域と連携した取り組みに制限がかかるようになった。当たり前に行ってきた事業を精査する機会とすればよいと思われる。
- ・「宇都宮の良さ」についてを知るために、校外学習などいろいろ経験できるとよい。
- ・「生き方講演会」の充実、ぜひ実現してほしい。
- ・教職員・児童より保護者の評価が低い項目がある。情報発信等充実させ、より周知に取り組む必要がある。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

【目指す児童の姿】

- ・明るいあいさつや正しい言葉遣い、きまりやマナーを守ることができるよう、家庭・地域と連携しながら、日頃から継続的に指導していく。
- ・自ら進んで学習に取り組ませるとともに、言語活動の充実と自分の考えを伝え合う活動を充実し、基礎基本の定着と「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けて取り組む。
- ・GIGAスクール構想の実現を目指し、一人一台の端末の活用を計画的・効果的に授業に取り入れるなど授業改善を図り、分かる授業を一層展開することにより学力向上を図る。
- ・「宇都宮の良さ」を知り、郷土愛の醸成が図れるよう、地域資源や人材を生かして宇都宮学を推進していく。

【目指す学校の姿】

- ・コロナ禍の状況下、既存事業の精査や実現可能な新たな取り組みを行うなど、家庭や地域と連携・協力しながら、特色ある学校づくりをさらに推進する
- ・いじめゼロや不登校を生まない学級経営を目指した取り組みを継続して行うとともに、学校での取組の様子を家庭や地域へ積極的に発信して啓発を図っていく。

【本校の特色・課題等】

- ・本校の課題である、いろいろな分野の本を読み、読書への関心や読み取る力の育成については、図書室のイベントや、家読等の活動に継続して取り組むとともに、司書と連携・協力して工夫改善を図る。

